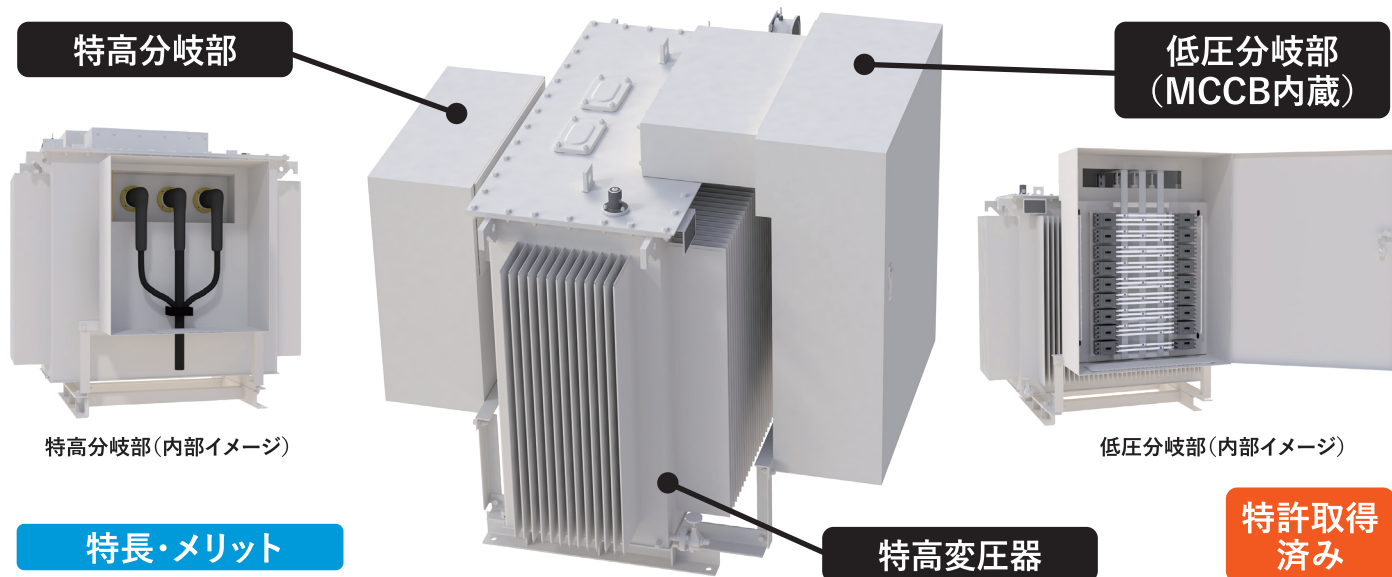


太陽光発電 特高サブステーション用 特高D-FIT[®] [配電機能付 特高変圧器]



■ 小型・低コスト

特高分岐部・特高変圧器・低圧分岐部を一体化し、特高サブステーションの小型化・低コスト化を実現
 → サブステーションの設置面積が減り、パネル設置面積がUP(=発電量UP)
 → 特高・低圧分岐部を含むためRMU^{※1}、低圧交流集電盤、集電箱が不要

■ 売電量増加・配線コスト減

低圧配線が特高配線になるため、ケーブルサイズが小さくなり、低圧配線の距離も短くなるため・・・
 → 電力損失低減(20年間で約1億円の売電収益UP^{※2})
 → 配線材コスト約70%低減^{※3}

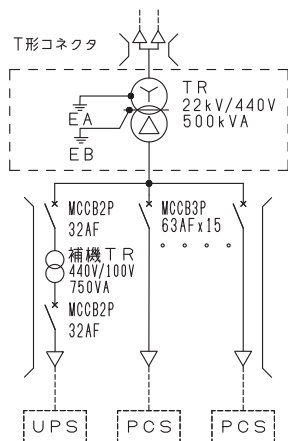
■ 容易な設置工事

一体構造のため設置が容易(復元工事不要)

■ 各種パワーコンディショナ(PCS)対応

セントラル型／分散型を選ばず、PCSと接続可能

単線結線図



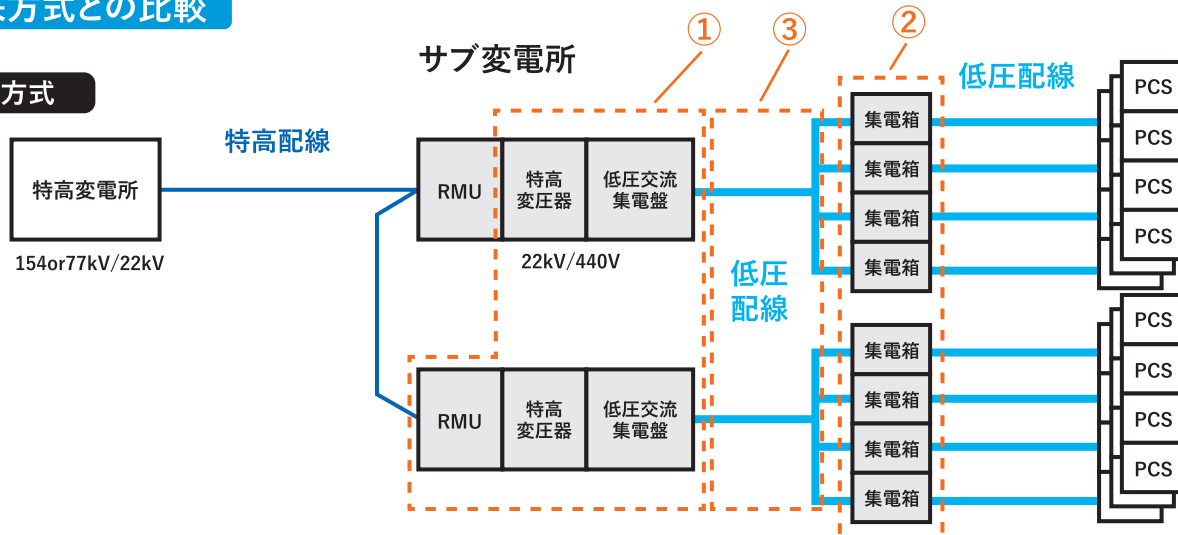
仕様

相数	三相
周波数	50/60Hz
特別高圧側	22kV
低圧側	360～550V程度(記載以外の仕様についてもご相談下さい)
容量	500・1000・2000kVA(記載以外の仕様についてもご相談下さい)
概略寸法(W)×(D)×(H)	1,630×1,870×1,500mm(500kVA、T形コネクタ)
概略質量	2,600kg(500kVA)
22kV コネクタ	L形コネクタ／T形コネクタ
設置場所	屋外
オプション	補機用電源(200V、750VA)

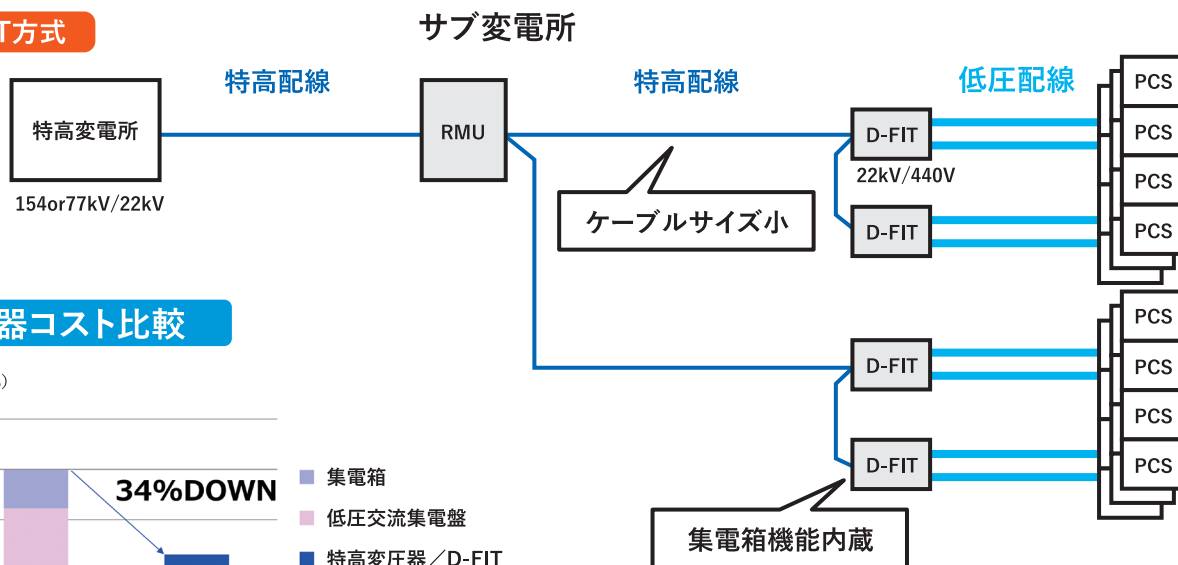
※1 Ring Main Unit(リングメインユニット) ※2 20MW、FIT単価32円、当社試算結果による ※3 20MW、ケーブル使用量8.5km(従来方式)→2.5km(D-FIT方式)
 ※記載情報の一部を予告なく変更することがあります。 ※「D-FIT」はダイヘンの登録商標です。2013年特許庁登録商標(登録番号:第5616961号)

従来方式との比較

従来方式

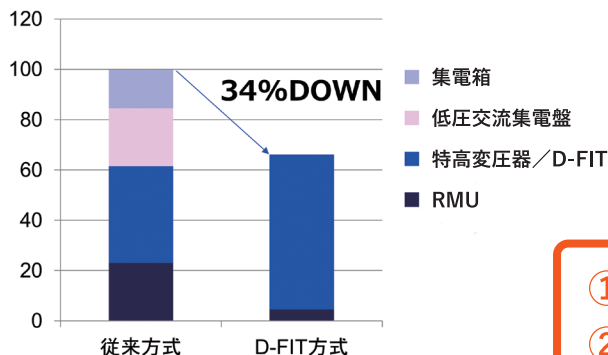


D-FIT方式



機器コスト比較

コスト比率(%)



従来方式に比べ
コスト34%DOWN

- ① RMU、特高変圧器、低圧交流集電盤を省略
- ② 集電箱を省略
- ③ 低圧配線エリアの削減(配線コスト減)
- ④ 基礎、据付面積の低減

外形図(500kVA)

